別添

平成17年度　先端技術を活用した農林水産研究高度化事業　採択課題一覧

Ⅰ．全国領域設定型研究のうちリスク管理型

1．弱毒株特有の高病原性鳥インフルエンザの感染・伝播様式の解明

課題番号	課題名	中核機関名	総括氏名	共同機関	研究期間（年）	研究概要
1791	弱毒タイプの鳥インフルエンザウイルスの伝播性・強毒化の検討	独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構動物衛生研究所	塚本　健司	北海道大学大学院獣医学研究科 鳥取大学農学部	2	2005年茨城県及び埼玉県の36の養鶏場で、弱毒タイプのウイルスによる高病原性鳥インフルエンザが発生したことを受けて、分離ウイルスの鶏増殖性、ウイルス排泄、同居伝播性を調べるとともに、各種血清検査法の有効性を評価する。また、鶏継代によるウイルスの強毒化の可能性と鶏以外の鳥類、哺乳類の感受性を調べる。これにより、効果的な蔓延防止策の確立と診断技術の高度化に資する。

2．ワクチン接種口蹄疫清浄国・地域からの畜産物輸入に係る措置の検討

課題番号	課題名	中核機関名	総括氏名	共同機関	研究期間（年）	研究概要
1792	口蹄疫を対象とした輸入検疫措置に関する研究	独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構動物衛生研究所	坂本　研一	日本大学生物資源科学部	3	我が国は口蹄疫ワクチン接種国・地域からの新鮮肉等は原則、輸入禁止であるが、国際的に、このような地域の清浄性を認める動きがある。このため、ワクチン接種口蹄疫清浄国等からの口蹄疫侵入リスク評価に必要な科学的知見の収集のため、ワクチン接種動物と感染動物との鑑別手法及び鑑別の信頼度に関する調査・分析、ワクチン接種状況も含めた口蹄疫清浄性確認のための評価の手法の開発、各国の検疫措置等の調査・分析を行う。

3．食品の加工流通段階で原材料中の脂質から生成する物質の経口摂取量評価に関する調査研究

課題番号	課題名	中核機関名	総括氏名	共同機関	研究期間（年）	研究概要
1793	トランス脂肪酸及びクロロプロパノールの摂取量に関する調査研究	独立行政法人食品総合研究所	長尾　昭彦	財団法人日本食品分析センター	3	健康への影響が危惧されるトランス脂肪酸やクロロプロパノール類について日本人の摂取量を明らかにすることが急務である。本課題では、トータルダイエットスタディを実施し日本におけるこれらの物質の摂取量の実態を明らかにする。また、個々の食品中の含量や調理に伴う含量の変化について分析する。得られたデータをリスク管理施策の検討資料として提供する。